

資格取得

1. 幼稚園教諭 2 種免許状・小学校教諭 2 種免許状・保育士資格取得の要件

本学は、幼稚園教諭 2 種免許・保育士資格、さらに、選択により小学校教諭 2 種免許を同時に取得することを目指す。

(1) 幼稚園教諭 2 種免許を取得する場合は、1 - (表 1)・(表 2) にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。

(2) 小学校教諭 2 種免許を取得する場合は、1 - (表 1)・(表 3) にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。

(3) 保育士資格を取得する場合は、2 - (表 1)・(表 2)・(表 3) にあげる科目を履修し、必要単位を取得すること。

(4) 幼稚園教諭 2 種免許状及び保育士資格を同時に取得する場合には 1 - (表 1)・(表 2) 及び 2 - (表 1)・(表 2)・(表 3) にあげる科目を履修し、必要単位を修得すること。

(5) 幼稚園教諭 2 種免許状、小学校教諭 2 種免許状及び保育士資格を同時に取得する場合には 1 - (表 1)・(表 2)・(表 3) 及び 2 - (表 1)・(表 2)・(表 3) にあげる科目を履修し、必要単位を修得すること。

(6) 教育実習、保育実習

実習種別	実習施設	実習日数	実施時期	単位	備考
教育実習	幼稚園	4 週間 (20 日×8 時間)	2 年次(6 月と 9 月)	4	
	小学校	2 週間 (10 日×8 時間)	2 年次(6 月または 9 月)	2	
保育実習 I	保育所	2 週間 (10 日×8 時間)	1 年次(12 月)	4	宿泊を伴う
	施設	9 泊 10 日 (10 日×8 時間)	2 年次 (4 月～11 月)		
保育実習 II	保育所	2 週間 (10 日×8 時間)	1 年次(12 月)	2	保育実習 I と同時期に実施

* 実習に関する指導及び説明は別途実施する。

(7) 小学校教諭 2 種免許の取得については、「介護等体験」を行う必要がある。期間は、特別支援学校又は社会福祉施設等での 7 日間を下らない範囲の介護等体験が必要。また、必要日数「7 日間」の内訳は、通達で社会福祉施設等で 5 日間、特別支援学校で 2 日間とすることが望ましいこととされ、各受入施設でも原則としてこのような日数(連続 5 日間・2 日間)で受入れとなっている。ただし、本学は、社会福祉施設等での 5 日間は免除されている。

2. 幼稚園 2 種免許状・小学校教諭 2 種免許状取得の履修基準

1 - (表 1) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 項に定める科目

免許法施行規則に定める科目	単位	本学開設科目	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2
体育	2	スポーツ I	1
		スポーツ II	1
外国語コミュニケーション	2	英語	2
情報機器の操作	2	コンピュータ演習 I	1
		コンピュータ演習 II	1
合 計	8	合 計	8

1 - (表 2) 幼稚園教諭 2 種免許状取得のための科目一覧

科 目		単 位	本学開設科目	必/ 選	単 位			
教科に関する科目	国語	4	国語	必	2			
	音楽		音楽Ⅰ	必	1			
			音楽Ⅱ	必	1			
	図画工作		図画工作Ⅰ	必	1			
			図画工作Ⅱ	選	1			
	体育		体育Ⅰ	必	1			
体育Ⅱ		選	1					
計		4	計	必 選	6 2			
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	教師論	必	2		
		教員の職務内容（研修、職務及び身分保障等を含む。）						
		進路選択に資する各種の機会の提供等						
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	教育学概論	必	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理学			必	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育制度論				
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	保育課程総論	必	2		
		保育内容の指導法		保育内容総論			必	1
				保育内容—表現Ⅰ			必	1
				保育内容—表現Ⅱ			必	1
				保育内容—健康			必	1
				保育内容—人間関係Ⅰ			必	1
				保育内容—人間関係Ⅱ			必	1
保育内容—環境				必			1	
保育内容—言葉	必	1						
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術	必	2					
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	幼児理解の理論及び方法	2	幼児心理学	必	2			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法			必	2	
教育実習		5	幼稚園実習事前事後指導	必	1			
			幼稚園教育実習	必	4			
教職実践演習		2	保育・教職実践演習（幼・小）	必	2			
計		27	計	必 選	31 2			
合 計		31	合 計	必 選	37 2			

1 - (表 3) 小学校教諭 2 種免許状取得のための科目一覧

科 目		単位	本学開設科目	必/選	単位	
教科に関する科目	国語（書写を含む。）	4	国語	必	2	
	社会		社会	選	2	
			社会福祉	選	2	
	算数		算数	選	2	
	理科		理科	選	2	
	生活		生活	選	2	
	音楽		音楽Ⅰ	必	1	
			音楽Ⅱ	必	1	
			音楽Ⅲ	選	1	
			音楽Ⅳ	選	1	
	図画工作		図画工作Ⅰ	必	1	
			図画工作Ⅱ	選	1	
	家庭		家庭	必	2	
	体育		乳児保育	必	2	
体育Ⅰ		必	1			
計	計	必	10			
		選	14			
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	2	教師論	必	2	
						教職の意義及び教員の役割
						教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
	教育の基礎理論に関する科目	4	教育学概論	必	2	
						進路選択に資する各種の機会の提供等
						教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
	教育課程及び指導法に関する科目	14	教育心理学	必	2	
						幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
						教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
	各教科の指導法	14	教育課程総論	必	2	
			国語科教育法	必	2	
			社会科教育法	選■	2	
			算数科教育法	選■	2	
			理科教育法	選■	2	
生活科教育法			選■	2		
音楽科教育法			必	2		
図工科教育法			必	2		
家庭科教育法			選■	2		
体育科教育法			必	2		
道徳の指導法	道徳教育の研究	必	1			
特別活動の指導法	特別活動の研究	必	1			
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術	必	2			

生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	生徒・進路指導の理論及び方法	必	2
	進路指導の理論及び方法				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
教育実習		5	幼稚園実習事前事後指導	必	1
			幼稚園教育実習	必	4
			小学校実習事前事後指導	必	1
			小学校教育実習	必	2
教職実践演習		2	保育・教職実践演習(幼・小)	必	2
計		31	計	必 選	36 10
教科又は教職に関する科目		2	教職教養特講	必	2
計		2	計	必	2
合計		37	合計	必 選	48 24

■から2科目以上選択

3. 保育士資格取得の履修基準

2 - (表1) 教養科目 (10単位以上)

告示による教科目	本学開設科目	必/選	単位
外国語 (2単位以上)	英語	必	2
体育 (講義1単位) (実技1単位)	こころとからだ	必	1
	スポーツI	必	1
外国語、体育以外の科目 (6単位以上)	日本国憲法	選	2
	スポーツII	選	1
	コンピュータ演習I	選	1
	コンピュータ演習II	選	1
	国語	選	2
計		必 選	4 7
合計			11

2—(表2) 告示別表第1による教科目

系列	科目	単位	本学開設科目	単位
保育の本質・目的に関する科目	保育原理(講義)	2	保育原理Ⅰ	2
	教育原理(講義)	2	教育学概論	2
	児童家庭福祉(講義)	2	児童家庭福祉	2
	社会福祉(講義)	2	社会福祉	2
	相談援助(演習)	1	相談援助	1
	社会的養護(講義)	2	社会的養護Ⅰ	2
	保育者論(講義)	2	保育者論	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ(講義)	2	保育の心理学Ⅰ	2
	保育の心理学Ⅱ(演習)	1	保育の心理学Ⅱ	1
	子どもの保健Ⅰ(講義)	4	子どもの保健Ⅰ	4
	子どもの保健Ⅱ(演習)	1	子どもの保健Ⅱ	1
	子どもの食と栄養(演習)	2	子どもの食と栄養	2
	家庭支援論(講義)	2	家庭支援論	2
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論(講義)	2	保育課程総論	2
	保育内容総論(演習)	1	保育内容総論	1
	保育内容演習(演習)	5	保育内容—表現Ⅰ	1
			保育内容—健康	1
			保育内容—人間関係Ⅰ	1
			保育内容—環境	1
			保育内容—言葉	1
	乳児保育(演習)	2	乳児保育	2
	障害児保育(演習)	2	障害児保育	2
	社会的養護内容(演習)	1	社会的養護内容	1
保育相談支援(演習)	1	保育相談支援	1	
保育の表現技術	保育の表現技術(演習)	4	音楽Ⅰ	1
			音楽Ⅱ	1
			体育Ⅰ	1
			図画工作Ⅰ	1
保育実習	保育実習Ⅰ(実習)	4	保育実習Ⅰ	4
	保育実習指導Ⅰ(演習)	2	保育実習指導Ⅰ	2
総合演習	保育実践演習(演習)	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2
合計		51	合計	51

2 - (表3) 告示別表第2による教科目 (2012年度入学生より適用)

系 列	本学開設科目	必/選	単位	留意事項
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理Ⅱ	必	2	
	社会的養護Ⅱ	選	2	
保育の対象の理解 に関する科目	臨床心理学	選	2	
	幼児心理学	必	2	
保育の内容・方法 に関する科目	保育内容－表現Ⅱ	必	1	
	保育内容－人間関係Ⅱ	必	1	
	保育の心理学Ⅲ	選	2	
保育の表現技術	音楽Ⅲ	選	1	
	音楽Ⅳ	選	1	
	図画工作Ⅱ	選	1	
	体育Ⅱ	必	1	
計		必	7	
		選	9	
保育実習	保育実習Ⅱ	必	2	
	保育実習指導Ⅱ	必	1	
合 計			19	

4. 免許・資格取得のために必要な最低修得単位数 (2012年度入学生より適用)

資格と科目単位数	基礎科目	専門科目		合計
	必修	必修	選択	
幼稚園教諭2種免許+保育士資格	13	79	0	92
幼稚園教諭2種免許+小学校教諭2種免許+保育士資格	13	100	4	117

5. 「幼稚園教諭2種免許状」、「小学校教諭2種免許状」及び「保育士資格証明書」の交付について

- 「幼稚園教諭2種免許状」、「小学校教諭2種免許状」の授与権者は、奈良県教育委員会、授与月日は卒業式の日付で、卒業式当日に交付する。
- 保育士資格は住民票のある各都道府県への一括申請登録後、「保育士証」は、6月末に各個人へ交付される。登録月日は3月31日付で、授与権者は各都道府県知事。

6. 看護師学校養成所指定規則で定めた教育内容

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 別表3

(看護師課程)

教 育 内 容			単 位 数		
基礎教育科目	科学的思考の基盤		13		
	人間と人間生活の理解				
専門基礎科目	人体の構造と機能		21		
	疾病の成り立ちと回復の促進				
	健康支援と社会保障制度				
専門分野	I	基礎看護学	40		
	II	成人看護学			
		老年看護学			
		小児看護学			
		母性看護学			
		精神看護学			
統合分野		在宅看護論	40		
		看護の統合と実践			
臨地実習	専門 分野	I	基礎看護学	23	
		II	成人看護学		
			老年看護学		
			小児看護学		
			母性看護学		
			精神看護学		
	統合分野		在宅看護論		23
			看護の統合と実践		
	合 計				97

7. 理学療法士養成校指定規則で定めた教育内容

教 育 内 容		単 位 数
基礎分野	科学的思考の基盤	1 4
	人間と生活	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	1 2
	疾病の障害の成り立ち及び回復過程の促進	1 2
	保険医療福祉とリハビリテーションの理念	2
専門分野	基礎理学療法学	6
	理学療法評価学	5
	理学療法治療学	2 0
	地域理学療法学	4
	臨床実習	1 8
合 計		9 3

*実習時間の3分の2以上は病院又は診療所において行うこと。

8. 作業療法士養成校指定規則で定めた教育内容

教 育 内 容		単 位 数
基礎分野	科学的思考の基盤	1 4
	人間と生活	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	1 2
	疾病の障害の成り立ち及び回復過程の促進	1 2
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	2
専門分野	基礎作業療法学	6
	作業療法評価学	5
	作業治療学	2 0
	地域作業療法学	4
	臨床実習	1 8
合 計		9 3

*実習時間の3分の2以上は病院又は診療所において行うこと。

9. 保健師学校指定規則で定めた教育内容

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 別表 1

(保健師課程)

教 育 内 容		単 位 数	備 考
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2 3	健康危機管理を含む。
	個人・家族・集団・組織の支援		
	公衆衛生看護活動展開論		
	公衆衛生看護管理論		
疫学			
保健統計学			
保健医療福祉行政論			
臨地実習	公衆衛生看護学実習	5	保健所・市町村での実習を含む。 継続した指導を含む。
	個人・家族・集団・組織の支援実習		
	公衆衛生看護活動展開論実習		
	公衆衛生看護管理論実習		
合 計		2 8	

10. 助産師学校指定規則で定めた教育内容

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 別表2

(助産師課程)

教育内容		単位数	備考
基礎助産学		17	
助産診断・技術学			
地域母子保健			
助産管理			
臨地実習		11	実習中分べんの取り扱いについては、助産師又は医師の監督下に学生一人につき十回程度行わせること。この場合において、原則として、取り扱う分べんは、正期産・経膈分べん・頭位単胎とし、分べん第一期から第三期終了より二時間までとする。
	助産学実習		
合 計		28	

11. 言語聴覚士養成校指定規則で定めた教育内容

教育内容		単位数	備考
専門基礎分野	基礎医学	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医学総論、解剖学、生理学及び病理学を含む。 ・内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学及び形成外科学を含む。 ・口腔外科学を含む。 ・神経系の構造、機能及び病態を含む。 ・心理測定法を含む。 ・聴覚心理学を含む。 ・社会保障制度、リハビリテーション概論及び関係法規を含む。
	臨床医学	6	
	臨床歯科医学	1	
	音声・言語・聴覚医学	3	
	心理学	7	
	言語学	2	
	音声学	2	
	音響学	2	
	言語発達学	1	
社会福祉・教育	2		
専門分野	言語聴覚障害学総論	4	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚障害診断学を含む。 ・脳性麻痺及び学習障害を含む。 ・音声障害、構音障害及び吃音を含む。 ・小児聴覚障害、成人聴覚障害、聴力検査並びに補聴器及び人工内耳を含む。 ・実習時間の三分の二以上は病院又は診療所において行うこと。
	失語・高次脳機能障害学	6	
	言語発達障害学	6	
	発声発語・嚥下障害学	9	
	聴覚障害学	7	
	臨床実習	12	
合 計		73	